

住宅・都市整備公団 特別共通仕様書「初期補修用プレミックスポリマーセメントペーストおよびセメントモルタル」に基づく試験結果

プレミックスポリマーセメントペースト

試験項目		公団基準	試験結果
ひび割れ		浮き・ひび割れないこと	合格
防食性		さびが発生しないこと	合格
接着強さ	標準時	鉄板 6N/mm <sup>2</sup>	合格
		モルタル板 6N/mm <sup>2</sup>	合格
	温冷繰返し10サイクル後	モルタル板 6N/mm <sup>2</sup>	合格

プレミックスポリマーセメントモルタル

試験項目		公団基準	試験結果
単位容積質量 kg/l		1.80以上	合格
保水性	保水率(%)	50以上	合格
長さ変化	長さ変化率(%)	0.15以下	合格
接着強さ (N/mm <sup>2</sup> )	標準時	6以上	合格
	温冷繰返し10サイクル後	6以上	合格
曲げ強さ (N/mm <sup>2</sup> )		8.0以上	合格
透水性	透水量(g)	3以下	合格
中性化	深さ(mm)	3.0以下	合格

合成高分子エマルジョン

モルタル接着増強剤

# セルマイテイ® 10

塗布(吸水調整材)・混入用

施工上の注意事項

1. 下地のゴミ・ホコリ・レイタンス・油污れ・剥離剤等は除去して下さい。
2. 下地の吸水の激しい場所は、吸込み調整のため、セルマイテイ10希釈液を塗布して下さい。
3. 風通しのよい所、直射日光の当たる場所はシートで養生して下さい。
4. 1時間以上練り置いた材料は使用しないで下さい。
5. 気温3℃以下では施工を中止して下さい。

保管上の注意事項

1. 直射日光および凍結を避けて保管して下さい。
2. 使用後の残液は缶を密閉して保管して下さい。

荷姿

18kg ……………ペール缶入り

取扱い上の注意事項と応急処置

1. 目に入った時、皮膚に触れたりすると炎症を起こすことがありますので、保護眼鏡、保護手袋等を着用して下さい。
2. 目に入った場合は、直ちに流水で15分以上洗浄し、医師の手当てを受けて下さい。
3. 皮膚に触れた場合は、付着した部分を水または微温湯で十分洗浄して下さい。
4. 万一飲み込んだ場合は、診断を受けるまでの間に牛乳か水を飲ませて吐き出させ、直ちに医師の手当てを受けて下さい。

廃棄上の注意事項

1. 内容物を廃棄する時は、産業廃棄物処理業者に処理を委託するか、焼却により処理して下さい。下水、河川、湖沼等への廃棄は絶対に避けて下さい。
2. 容器を廃棄する時は、中身を完全に除去して下さい。

\*詳しくは、製品安全データシート(MSDS)をご参照下さい。

●特約店

**DAICEL** **ダイセルミライズ株式会社**

産業資材営業部(大阪支店)

【本社】  
〒108-8231 東京都港区港南 2-18-1 JR 品川イーストビル  
TEL 03-6711-8513 FAX 03-6711-8516

【大阪支店】  
〒530-0011 大阪府大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪 タワーB  
TEL 06-7639-7471 FAX 06-7639-7477

URL: www.daicelmiraizu.com

H19.7.200

JIS A 6203(セメント混和用ポリマーディスページョン)適格品  
(エチレン酢酸ビニル系)



**DAICEL**

**ダイセルミライズ株式会社**

# セルマイティ-10

セルマイティ-10は、モルタル混和用・吸水調整材として、総合化学のダイセル化学工業(株)と協同で開発したエチレン酢酸ビニル系合成高分子エマルジョンです。

セルマイティ-10をコンクリート打放し面などに吸水調整材として塗布またはモルタルに混入することにより、接着性・物理的な諸性質を向上・改善することができます。

## 特 長

1. 塗布および混入することにより、安定した接着力を発揮します。
2. 水で簡単に希釈でき、作業性が良好です。
3. セメント混和性・接着性にすぐれたポリマーセメントモルタルが得られます。
4. 耐水性・耐アルカリ性が良好です。
5. 引火性・毒性・不快臭がありません。

## 性 状

外 観	乳白色エマルジョン
pH	5~7
固 形 分	45±1%
粘 度 (30℃)	6~8p
最低造膜温度	2℃
凍結融解安定性	良 好

## 施工方法

### 混入工法

材 料	工 法	セメントペースト	セメントモルタル	既調合モルタル25kg袋
セメント		25kg	25kg	
砂 (珪砂)		20kg	50~75kg	
セルブレン又はMC			20~45g	
セルマイティ-10		5kg	5kg	1.5kg

※セメント・骨材等をよく空練りしてから、セルマイティ-10基準量と水で練り加減に混練りして下さい。

### 塗布工法(吸水調整材)

調合および施工手順

用 途	下地処理	希 釈 割 合	塗布量(希釈液)	塗布面積/缶
コンクリート壁	水洗い乾燥後	セルマイティ-10 1缶：清水2缶=3倍液	約150g/m <sup>2</sup>	360m <sup>2</sup>
軽量コンクリート壁	//	セルマイティ-10 1缶：清水2缶=3倍液	約200g/m <sup>2</sup>	280m <sup>2</sup>
コンクリート床	//	セルマイティ-10 1缶：清水3缶=4倍液	約200g/m <sup>2</sup>	360m <sup>2</sup>
ALC壁・床	//	セルマイティ-10 1缶：清水4缶=5倍液	約400g/m <sup>2</sup>	200m <sup>2</sup>

※ALC下地は吸水が激しいので、規定量を2回塗布して下さい。  
乾燥後モルタルを塗り付けて下さい。

## JIS A 6203(セメント混和用ポリマーディスパージョン)試験結果

試験の種類	試験項目	単 位	試験結果	JIS A 6203における規定
ディスパージョンの試験	外 観	—	粗粒子・異物・凝固物などを認めず	粗粒子・異物・凝固物がないこと
	比 重	—	1.060	—
	pH	—	4.8	—
	粘 度	p	6.92	—
	全 固 形 分	%	45.6	35.0%以上かつ表示値±1.0%以内
ポリマーセメントモルタルの試験	単位容積質量	kg/ℓ	1.96	—
	曲 げ 強 さ	N/mm <sup>2</sup>	13.7	8.0N/mm <sup>2</sup> 以上
	圧 縮 強 さ	N/mm <sup>2</sup>	53.8	24.0N/mm <sup>2</sup> 以上
	接 着 強 さ	N/mm <sup>2</sup>	2.6	1.0N/mm <sup>2</sup> 以上
	吸 水 率	%	2.0	10%以下
	透 水 量	g	0.3	15g以下
	長さ変化率	%	0.065	0~0.150%

## 日本建築仕上学会 M-101セメントモルタル塗り用吸水調整材規格(案)に基づく試験結果

試験の種類	試験項目	測 定 値	規 定
ディスパージョンの試験	外 観	合 格	粗粒子・異物・凝固物がないこと
	比 重	1.06	
	pH	4.8	
	粘 度	6.33p	
	全 固 形 分	45.5%	表示値±1.0%以内であること
吸水試験	吸 水 性	0.39g	30分間で1g以下であること
接着強さ試験	標 準 状 態	2.6N/mm <sup>2</sup>	ひび割れおよび剥がれがなく、接着強さが1.0N/mm <sup>2</sup> 以上で界面破断が50%以下であること
	熱冷繰返し抵抗性	2.4N/mm <sup>2</sup>	
	凍結融解抵抗性	下地コンクリート内部破断のため測定不能	
	熱アルカリ溶液抵抗性	2.2N/mm <sup>2</sup>	